

磐城時報

編輯兼發行所 石城郡平町掛屋町十四
印刷所 石城郡平町掛屋町十四
電話 二一〇
廣告料 一行十四字 一月五拾五圓
一月三拾五圓 三月九拾五圓 半年一圓七拾五圓 一年三圓二拾五圓
日刊(日曜、祭日、休日、休刊)

餘す處五日に迫つた

縣下青年体育大會

前年の優勝は伊達郡 代表選手が猛烈な練習

本縣聯合青年團体育大會は来る十月五日石城郡平町の高月臺上より二十九日石城郡錦海岸を磐城中等學校庭で舉行される、大振り出しに三十日四倉を終点と會の日も余す所五日の後に迫つて完了し、各省所管の境界判て各郡市青年團でも既報の如く代表選手も既に決定し今や猛練習を續けてゐるが、昨年の優勝郡伊達郡では同郡は勿論再度の優勝を期すれば他郡市はまた必勝を期してゐる、いゝ過般の豫選會の成績から押して来るべき大會に於て優秀な成績をおさめると見られる選手は陸上競技の部では

- ▲百米 伊達小水功、石城西田武雄、相馬佐藤新助、田村実戸興實
- ▲四百米 郡山佐藤富雄
- ▲千五百米 郡山鈴木輝身
- ▲一萬米 信夫渡邊吉五郎
- ▲砲丸投げ 石城佐藤善助
- ▲走巾跳 郡山佐藤富雄、伊達黒須忠一、石城佐藤善助
- ▲走高跳 北會和田繁

石城海岸調査

三十日終了

石城郡内に於ける海濱地調査は國分縣屬、船越土木主事及仙臺

報知機

小名濱着

東京報知新聞社の飛行機は三日立川を出發し新潟縣から山形、秋田、青森、岩手、宮城各縣を通過し十月十日頃石城郡小名海岸に着陸する筈である。

銅像建設

十五日除幕式

平町私立平陽實科女學校の建設者現校長酒井みよ女史への報恩事業として同校同窓會發起となつて銅像費二千五百圓を以つて女史の銅像を建設に決し原型を平中グラウンドで舉行するが、参加町出身本村朝忠氏に依頼作製中炭礦は磐城、入山、古河の三炭礦で早くも人氣を呼んでゐる。月十五日除幕式を舉行する。

失業者が石炭拾ひ

毎日八十名位集まる

石城郡内鄉村磐城炭礦では同村女五十名、子供でも二十名に大字綴坑から出るボタ炭を附近の山に捨て現在ではボタ炭の山を築いてゐるが、最近同村内に失業者が増加したのと又業に就いてゐても収入が減少したので生活苦を感ずるやうになつたので之等の人々はボタ炭を掘つてその中から石炭を選び之を平町に賣りに来る者増加したが、その収入を聞くとい日男六十錢、

氏子總代改選

相馬

郡太田村中太田に鎮座する縣社太田神社氏子總代改選は来る十月月初めに執行する筈なるが、このにも野心家があり夫々運動せねば名を出せぬものと見える。

町議の無錢飲食

町會の問題となる

吉田議員が調査を主張

平町會は二十九日午後一時から開會したが、協議が終つた後町議吉田寅之輔氏は

石城時計商聯合會設立

平町の時計商間には從來時計商組合が設けられ同業者間の親睦融和と營業の發展向上を計つてゐたが、今回區域を石城郡一圓に擴大し、石城郡時計商組合を設立する事となり二十九日大谷武雄組合長以下が平町南町松本樓に會合協議の結果明春發會式をあげる事になつた。

木村守江氏寄附

石城郡四倉町醫師木村守江氏は四倉町轉住を期とし同町小學校に金十圓を寄附した。

石城晩秋繭の取引

辛うじて十七掛見當

最低記録の相場に各製糸家は流れたと沸々市場にも買人が現は石に氣味悪さを感じ、買つてよれ出したので昨日あたりから晩のものやら悪いやらといふた状態秋繭の季節らしさを示してゐる。然し建て値は依然として底に着き、僅に四倉市場が最高二圓五錢を辛うじて示したに過ぎず十七掛見當であつた。

四倉 高二圓五錢、安一圓四十錢、馴一圓六十錢、安一圓一圓八十錢、馴一圓一圓一十二錢、馴一圓一圓五十六錢

祝 創刊五千號

平町長 伏見彦衛

平町助役 遠藤長誠

平町字南町

大和田耳鼻科醫院
電話 一七〇番

平町字白銀町

加藤丈夫營業所
電話 三十二番

縣會議員 野崎滿藏

縣會議員 鈴木辰三郎

凌辱した上 酌婦に賣る

石城郡湯本町三國旅館業男屋事
假名志賀正雄(一七)は平町材木
町假名鈴木は(一八)が家庭の
不和から家を出る十日湯本町
に來たところを言葉巧に自宅に
連れ込み處女を奪ひその後酌婦
に賣飛ばさんとしてゐたことを
平署で探知し同署の中島刑事部
長が二十九日湯本町に出張連累
者として同町旅館業常陸館番頭
某も引致し取調べを續けてゐる。

前回調査の 約半数位か

炭礦の世帯數
石城郡内炭礦世帯調査は前回の
國勢調査當時が好況時代であつ
たため炭礦従業員だけでも三萬
五千三百二十一、その家族十
萬五千九百六十三人を併せると
十四万一千六百八十四人の多數
に上り、各町村の人口は豫想外
に多かつたが逐年炭界の不況が
深刻となつて專業縮少、廢休山
等にわづはひされて今日では前
回に比べると山だけでも半数に
も元たぬ激減振りである、即ち
炭礦従業員としては全部で一萬
七千五百余人、その家族五萬二
千五百余人合計七萬余人である
縣下では程減つた所はあるまい

海盛座の歌舞伎

四倉町海盛座では十月一日より
三日間東京大歌舞伎名題俳優
村文車及び市川久團次一行約五
十名にて開演する、初日犯言左
の如し

- ▲第一 關東五郎一代記
- ▲第二 秋葉山中大だんまり
- ▲第三 羅生門の場
- ▲第四 瀧夜叉庵室の場

失業者のうちには かろした悲惨者もある

係員も泣いた一篇の物語

平職業紹介所で平町上水道操
張工事人夫採用の爲め失業者
登録をした中に左記の如き哀
れな物語りには係員もさう
同情の涙を流してゐた。

平町舊城址字六間門の長屋
に住む矢野政雄(三三)は福島
市で失業苦を味ひ石城方面の
炭礦へ行けば何うかなるであ
らうと本年七月妻子四人を引
連れて平職業紹介所を訪れた
が炭礦の不況の深刻な事を聞
かされ就職の望みのない何うに
かして仕事にありつるかといふ
時の宿を前記長屋に定め酷暑
もめげず毎日足を棒にして就
職口を探し續けて居た。

辛抱第一と政雄は當てどな
く就職口のみを念頭に歩つて
ゐる。八月一日妻美佐子(三
四)は腸チフスに罹り隔離病
舎に收容され五十余日を送り
歸宅はしたが病は癒へず病床
に寝たつきで、その間乳兒
は母親の乳も飲めずミルクと
重湯で養育した爲め胃腸病と
なり二人の子供はリウマチス
と脚氣をやみ政雄は就職口探
しにも行けず妻子四人はさま
い四疊半に就寝するに足らぬ
底生活に彷徨して居た。

相馬支局通信

原町地方稻蒔始る
原町にて本年の新米初取引は去
東 横須賀方面に修學旅行に

相馬校修學旅行

縣立相馬農工學校第三學年約四
十名は菊池、半谷の兩教諭引率
の下に十一月一日原町驛前發にて
東 横須賀方面に修學旅行に

出場馬匹検査

原町
競馬も來る。四日より始まるので
廿七日出場馬匹検査を執行した
が、申込非常に多く昨年より十
項を増した、尚ほ同競馬に出場
する騎手連れ同日午後二時より
原町驛前仲屋旅館に會し注意事
項の打合せをした。

慈善演藝大會

原町
青年團第五、第六の兩分團主催
にて十月四日原町座にて慈善大
演藝會を催し、収益金は貧困兒
童救助費に寄附する由、會費十
錢、出演費入大歓迎す。

出發、同月六日朝原町驛着に満期につき改選期に聞もあるが 野心家二三ある模様にて夫々潜 て歸校の豫定。

消防秋季檢閱

相馬行運動を開始し、議員中にも再
郡八澤村消防秋季檢閱は廿九日
選派と改選派もあるが、同村は
同村小學校庭にて執行した。

金房村長改選

相馬村長の再選に落着くものと見て
郡金房村長草野利八氏は十一月
ある。

光と影、映畫研究所、主催 外國映畫の夕

獨逸ウーファ社特作
名優 ニコライ・コリン氏主演
諾威 ビオス社製

東洋秘蔵

獨逸ウーファ社一九三〇年度超特作
一九三〇年大都會の路上史

東洋秘蔵

業柱の神祕

及ぶ

妖艶ベツタイ・アーマン 主演
十月一日兩夜限り 入場七十錢
料三十錢 電話四六六番
映寫時間「東洋の秘蔵」午後七時より、「北極の神祕」八
時五分より、「メスフェルト」九時二十分
回割引前賣券御利用下さい

偉大なる藥酒 粟守酒
朝の二盃は精力の源泉、晩の一盃は睡眠の助力
粟守酒特約店 大平屋藥店
代價八分 壹圓九十錢 平町一丁目一四六二

愈々皆々様御期待の 東都 浪界者人氣天才女 港月子嬢



明一日より二日間 午後六時開演
初日に限り平七間
料一等金五十錢 處女金三十錢
印刷物は、加納活版所

十月一日ヨリ七日間 二十年来の最安値 秋冬物 吳服大賣出し

- 三井獨特の色調と今秋の最先端を行く襟様の類、帯地類を初め友禪、小枝、御召等の最優秀品並に銘仙、着尺モス、實用品を豊富に取揃へ最安値を以て提供致します
- 御婚禮花嫁式服
 - 松印 黒小濱縮緬襟様江戸綾 金百貳拾圓
 - 竹印 黒縮緬下着、唐織丸帯 金八拾圓
 - 梅印 黒縮緬襟様江戸綾、黒縮緬下着、糸錦丸帯 金五拾圓
- 三井の超特價品
 - 錦紗小紋 十二圓
 - 本場縮緬 三圓八十錢
 - 本場縮緬 三圓二十錢
 - 本場縮緬 三圓八十錢
 - 本場縮緬 三圓八十錢
 - 本場縮緬 三圓八十錢
 - 本場縮緬 三圓八十錢
- フットン綿(正)一貫目一、六〇一、八〇二、二〇
- フットン綿(正)一貫目一、六〇一、八〇二、二〇

三井吳服店
平町 電話三八四番